

北社会ニュース第67号

2010年8月17日

発行者： 鈴木壮夫

(1) 第284回北社会 (8月18日)

講師：木村義満氏(高14回) MOXON MUSIC

「23歳から始まった私の音楽の道」

サクソフォンでバッハの無伴奏チェロ組曲を演奏いただき、同窓である皆さんのレベルにも合わせ楽しめる曲もリクエスト次第です。猛暑の日々、木村さんのサクソフォンの音色で生活にうるおいをもらって、ガンバッテ下さい！

(2) 木村さんと私の出会い

2年前、2008-10-15の東京同窓会の会場でした。当日、私は来賓者の接待に加え、イートン校との交流募金徴収が仕事でした。木村さんの演奏の後、司会者がコンサートの手配を話しました。なんと、翌日は川越でした。木村さんに挨拶に行き、会場をお聞きしたら百丈とは入魂のカフェ・カサゴ、ビックリでした。モンゴルの母娘と会場に行き演奏を楽しみました。楽器の調整を頼んでいる店も私の自宅のすぐ近くです。

昨年8月18日、ピッタシの一年前、北社会での演奏の手配でした。木村さんは8月13日に気軽に内視鏡検査したところ当時のご本人のお便りに“素人にもはっきりとわかる毒々しい映像が目に入り本当に驚きました”即入院即手術となりました。昨年の18日には手術を受けられていたのです。回復本当におめでとうございます。

(3) 創立110周年記念パネルディスカッション (10月22日)

本日、庄司校長と電話連絡時、メンバーをお聞きしました。

佐藤寿彦氏(高25回) GIP社長、鈴木武一氏(高27回) ACアズーリ総監督、丸山泰雄氏(高35回) チェリスト、日向寺太郎(高36回) 映画監督 の4名です。テーマは『学ぶことの大切さ』～未来を切り拓くために今は何を学ぶべきか～

→来月の北社会は110周年記念行事及び事業計画をテーマにと計画しております←

尚、110周年記念に中庭に「文武一道」の石碑を建立するそうです。

※余白にクイズ※

遠藤真広氏(高18回)が発行者である木犀社から「単独者のあくび 尾形亀之助」が6月に発行されました。著者は盛岡在住の吉田美和子さん(昭和20年盛岡生まれ、東北大学文学部国文科卒業)です。中原中也、吉田一穂に並ぶ「絶対詩人」尾形亀之助。どこへも追従しない男は、寝ころぶしかない。寝ころんだまま動かず、ひとり存在を虚ろに耐え、全身で社会と向き合い、ひたひたと歩みよる戦争に抗して、みずから食を絶ち、ひっそりと生を終えた。『尾形』家は伊達藩時代からの大河原町の有数の資産家。仙台に3800坪の家屋敷を買った。「尾花お化けの尾形屋敷」と呼ばれた大邸宅で君臨していた一族。クイズはこの屋敷はどこでしょうか？ 二高生なら誰でも分かる場所！